



ソーシャルインクルージョンの視点に基づく障害者文化芸術

観て知ろう!バリアフリー映画上映 in 静岡

日時

2019年
1月20日
(日)

午後1時

(受付開始12時30分)

場所

静岡市東部勤労者福祉センター

清水テルサ6階研修室

〒424-0823

静岡県静岡市清水区島崎町2-2-3



“ぼくの猫に きみの猫がふれたとき
そこに言葉が生まれた”

監督 西原孝至
91分 DocuBarry カラー スタレ 2017年シネマ作品
企画・製作/山上徹二郎、大河内直之 北西賢則、プロデューサー/小町谷健彦、山上徹二郎
撮影/加藤孝信、山本大輔、録音/小町谷健彦、整音/若林大記、編集/西原孝至
編集協力/金子尚樹、植田浩行、音楽/柳下美恵、テーマ曲/桜井まみ(「登耳」の刺繍(今日))
協賛/まの法人バリアフリー映画研究会
協力/社会福祉法人全国盲ろう者協会、認定NPO法人東京盲ろう者友の会、
東京大学先端科学技術研究センター、福島研究家、NPO法人メディアアクセスサポートセンター(MASO)、Padra
製作/配給/シネロ © 2017SiRo
(絵:漢生卓也)



手話通訳あり
(トークセッション)

参加費 500円

介助者 未就学児 は無料

映画上映、トークセッションを予定しています。詳細は裏面をご覧ください。

お申込みについてのご連絡先

NPO 法人自立生活センターアシストミル

(担当:岩本)

TEL/FAX 055-976-3432

主催

特定非営利活動法人 DPI 日本会議

(担当:鷲原、笠柳、岡部)



Web申込みはこちらへ

トークセッションでは同時手話通訳を行います。情報保障の必要がある方は1月11日(金)までにWeb・電話・FAXなどで事前にお知らせください。

人数把握の為に、申込みをして頂けると助かりますが、当日のご参加もお待ちしております。

公益財団法人キリン福祉財団助成事業
ソーシャルインクルージョンの視点に基づく障害者文化芸術

観て知ろう！バリアフリー映画上映 in 静岡

映画「もうろうをいきる」上映

開催のお知らせ

DPI日本会議は、障害種別を超えた全国96の団体からなる組織です。

障害者が主体的に文化芸術活動に携わることによってもたらされるエンパワメントや才能の発掘などを目的として、この度「観て知ろう！バリアフリー映画上映in静岡」を静岡県内の多くの団体のご協力を得て、開催することとなりました。

その背景として「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律（障害者文化芸術活動推進法）」が、2018年の6月13日に成立・施行されたことが挙げられます。この法律は、障害者が文化芸術を創造することができる環境づくりを政府や地方公共団体に求めています。これを受け、障害者が文化芸術活動の主体となる活動が促進されるように、鑑賞機会・発表機会の確保、制作環境の整備、文化施設のバリアフリー化等の計画策定が今後すすめられることとなります。

静岡県では、2017年度から「静岡県障害を理由とする差別の解消の推進に関する条例」が施行されており、障害の有無にかかわらず誰もが共に暮らしやすい静岡県づくりが官民挙げて進められています。これらの法律や条例を契機に、インクルーシブ社会、誰もが暮らしやすい社会の実現を参加者のみなさんと考える契機としたいと考えます。皆さま、ぜひご参加ください。

開催日時

2019年1月20日(日)
午後1時～午後5時
(午後12時30分より受付開始)

当日のプログラム

①映画上映「もうろうをいきる」(1時間31分)

②トークセッション

登壇者：

大河内 直之 氏 NPO 法人バリアフリー映画研究会 理事長

斉藤 正比己 氏 静岡盲ろう者友の会 会長

小出 隆司 氏 NPO 法人
オールしずおかベストコミュニティ 理事長

場所



- JR清水駅下車
みなと口より徒歩約5分
- 静鉄新清水駅下車
徒歩約7分

静岡市東部勤労者福祉センター
清水テルサ 6階研修室
〒424-0823
静岡市清水区島崎町223

参加費

500円(介助者・未就学児は無料)当日お支払いください

【主催】 特定非営利活動法人 DPI 日本会議

【共催】 特定非営利活動法人バリアフリー映画研究会、静岡県 CIL 連絡協議会

【後援】 (申請中含む) 静岡県、静岡市、静岡県社会福祉協議会、静岡市社会福祉協議会、静岡盲ろう者友の会、
公益社団法人静岡県視覚障害者協会、公益社団法人静岡県聴覚障害者協会、NPO 法人オールしずおかベストコミュニティ